

# TOPICS

# TOPICS

## 新しい長浜市ってどんなまち

①観光編

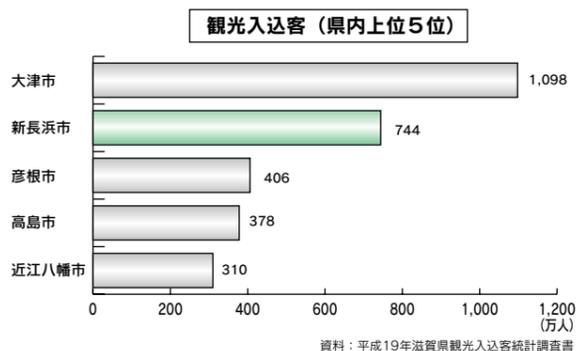
このコーナーでは、来年1月1日に合併する長浜市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町の現状と「合併基本計画」の内容を紹介しながら、新しい長浜市の姿を探っていきます。

長浜市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町には、歴史・文化・自然をはじめたいへん魅力的な観光資源がたくさんあります。新しいまちが、多くの人を訪れるまちになるよう、今回は観光面でのまちづくりについて見ていきます。

### 観光入込客数は、県内2位に！

新市の観光入込客数は、744万人（平成19年滋賀県観光入込客統計調査書数値）となり、滋賀県内では大津市に次いでたくさんの観光客が訪れるまちになります。特に観光客が多いのは、黒壁ガラス館の211万人で、滋賀県内では1位となっています。

また、現在、各市町で観光に携わられているみなさんに、基本目標にも掲げている『もてなしの心』を切り口に、「現在の活動紹介、日ごろ感じていること・思っていること」と「合併後のまちに期待すること」をお聞きしましたので紹介します。



### 自然をいかした観光活動

太田 和廣さん（西浅井町）  
西浅井町観光協会

現在、私たちは、桜の季節には大浦から菅浦にある約4千本の桜並木を見ながら歩く『桜散歩』を実施しています。



また、夏には奥びわ湖・西浅井水運祭りに合わせて歴史・文化に触れることができる深坂古道ハイキングを実施したりしながら、西浅井の自然や歴史をPRしています。

今後は、片側通行となっている奥びわ湖パークウェイの早期全線開通の実現に努力するとともに、山門水源の森など湖北地域に多く存在するの自然環境をいかした観光施設の保全活動などに力を入れていきたいと思っています。

### 幅広い面から観光を

東野 更正さん（余呉町）  
余呉町観光協会会長

近年、余呉町では、余呉の歴史・文化・自然を、町内外の人たちに知ってもらうため、県・JR・民間団体などの協力と援助を得て進めるとともに、町民が知恵と力を出して取り組んでいます。



今後は、湖北地域全体が観光の対象となることから、優劣や有名志向に偏らない、各地域それぞれの「観光」を地道に発掘・創出していくような取組が必要だと思っています。

また、「観光」を社会教育などの面からとり上げ、従来の観光行政の観点を広げていただきたいと思います。

### もう一度足元を見つめよう

林 源栄さん（木之本町）  
木之本町観光協会会長

合併・広域化で湖北エリアの観光は、より多彩となり魅力が増す反面、お客様をお迎えする上で広範囲な対応、接客知識が求められることとなります。



わたしたちは、もう一度足元を見つめ直し、人や物、風情、人情、歴史など、お客様が求めておられる湖北の魅力を見間違えずに大切にならなければなりません。

住んでいるもの一人一人が誇りに思える地域づくりが、旅人にとって、訪れたい町、過ごしたい町になるのではないのでしょうか。そして、その魅力が発信できれば懐の深い広域観光がかなうと思います。

## 観光面では、『観光交流産業の振興』に取り組み、次のようなことに力を入れていきます

### ◎観光産業の拡大

観光キャンペーンなどにより観光交流を促進し、広域的な地域振興を図るとともに、もてなしの心をもった質の高いサービスが提供できるよう、そのノウハウが習得できる機会づくりや、特産品開発など観光関連産業を振興します。

### ◎観光ネットワークの基盤整備

歴史文化遺産や豊かな自然資源とその周辺を活かし、来訪者向けのサービス機能や施設を充実させるとともに、地域資源を結ぶ公共交通や遊歩道・サイクリングルートなどを整備し、観光のネットワーク化を図ります。

### ◎観光イベントの連携と充実

伝統文化などのイベントを次代に継承するため、担い手の育成と関係する施設の充実を図ります。

### ◎体験型観光の推進

豊かな自然を活かしたグリーンツーリズムやブルーツーリズムを推進し、体験・交流の機会づくりを促進します。

### おもてなしの心で対応を

坪居 ちのさん（長浜市）  
長浜ボランティアガイド協会

私たちは長浜を中心に湖北の自然や文化、歴史、まちづくりについてご案内をしています。今年はNHK大河ドラマにあわせ「北近江戦国ロマンフェスティバル」が開催されているので、その会場や三成ゆかりの地をめぐるご案内等もしています。



合併すると数多くの観光地が長浜市のエリアに入ってきますので、広域で滞在型のお客さまを受入れる体制の充実が課題になってきます。豊かな観光資源にめぐまれたわがまちをあたためたい「おもてなしの心」でお迎えし、微力ながら地域の観光振興のお手伝いができればと思っています。

### 人と人の交流が出発点

山岡 直芳さん（高月町）  
合同会社高月しばさん商会

まちづくりに限らず、何事も人と人の交流が出発点となってさまざまな面に広がっていく。そのきっかけとなるものが観光、どれだけ人を呼べるかだと思います。人を呼べれば、地元が潤うことはもちろんですが、人が集まることにより、まちに活力が出てきます。「観音の里たかつき」といわれるように、高月町には地域住民が自発的に守っている多くの観音さんがいらっしゃいます。



今後は、観音さんを通じた地域の人たちと来訪者とのつながりや、全国にPRしていける連携のとれた湖北地域になることを期待しています。

### 得意分野をいかした交流

田邊 理人さん（湖北町）  
道の駅「湖北みずどりステーション」駅長

湖北町の安心・安全・新鮮な食材の販売や豊富なメニューの本格和食が食べられるレストランの管理等、道の駅「湖北みずどりステーション」を切り盛りするのが今の仕事です。



地元の食材、産物を中心に販売していると、地産地消の効果もあるし、地元では当たり前のもので都市部ではめずらしく、遠くの人から買ってもらえます。

今後は、安心・安全にサプライズをプラスするとともに、合併で生まれる連帯感により、お互いの得意分野の交流を盛んにし、お互いが得になるようなことができればと考えています。

### 「ゆい」の精神を大切に

川合 環さん（虎姫町五村）  
虎姫町観光協会会長

姉川の古戦場、小谷山、虎御前山は、元亀争乱の舞台であり、合併を期にテーマ性のある観光ルートを策定し、地域の観光資源の新たな魅力の創造につながることを期待しています。湖北地域は、自然、歴史、信仰で共通する部分が多く、今まで点であった観光地が、共通のテーマでつながることでの面的な観光地となり、今まで以上に特色をもった地域づくりができればと考えています。



また、今なお残る、人のつながりを大事にする相互扶助の精神、いわゆる「ゆい」の精神を大事にし、来訪者のつながりを大事にしていきたいと考えています。